

令和3年5月24日

公益社団法人青森県獣医師会

会長 小山田 富弥 様

酪農学園大学獣医学ユニット

教授 蒔田浩平

伴侶動物医療現場における COVID-19 の影響に関する
アンケート調査へのご協力をお願い

春暖の候、貴会ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、現在当ユニットでは、伴侶動物医療従事者を対象に、COVID-19 の影響に関して、Google Form を用いたオンラインでのアンケート調査を実施しております。しかしながら現在、調査の回答数が伸び悩んでおります。

つきましては、下記の内容について、改めて貴獣医師会会員への調査参加依頼の周知について、ご協力を賜りたく、ご検討の程よろしくお願いいたします。ワンヘルス推進の観点からのご高配賜れば大変幸甚です。

記

1. 研究課題名

「日本の伴侶動物医療現場における COVID-19 の影響に関する研究」

2. 調査者

酪農学園大学獣医学群 蒔田浩平・堀あい・福元風夏（獣医学類6年生）；
北里大学獣医学部 木村祐哉；日本獣医生命科学大学獣医学部 田中亜紀
金沢大学人間社会研究域 堤敦朗

3. 研究の目的

伴侶動物医療現場における COVID-19 による影響を把握、記録し、公表することで、各診療施設での本病対策に役立てて頂く。

4. 調査の方法

地方獣医師会等の団体および個人の協力により拡散し、Google Form を用いて情報収集する。

調査期間：2021年5月1日～5月31日

調査対象：日本の伴侶動物医療施設勤務者（非獣医勤務者を含む） 約400名

調査内容：（1）診療施設での COVID-19 発生状況、（2）衛生対策、（3）診療・勤務状況、（4）診療施設の運営状況、（5）従事者の精神的ストレス；約20分のオンライン回答

得られたデータを解析し、学会・HP・論文での公表、協力団体への報告書送付を行う。

5. ご依頼内容

貴会員への本調査、および酪農大獣疫学ユニット HP 内質問票リンクの周知。

酪農学園大学 獣疫学ユニット<<https://veterinaryepidemiology.jp/1018.html>>

6. 倫理への配慮

本調査は無記名自記式調査にて行います。得られたデータにより個人・機関名が特定されることはありません。得られたデータは酪農学園大学内のみで扱い、本研究の目的以外では使用しません。電子データは 5 年間保存し、保存するコンピュータから期間経過後に完全に消去します。

回答時に、調査への参加協力同意をいただきます。同意は協力者の自由意志によりご決定頂き、拒否できることを保証します。調査参加への謝礼は用意してありません。

本研究計画は、酪農学園大学人を対象とする医学系研究倫理審査委員会の承認を受けております（承認番号：20-6）。

本研究の研究成果は、2021 年 9 月に開催予定の獣医学会およびその後の学術誌の紙面にて公表する予定です。個人情報の保護について十分に配慮し、研究成果の公表で個人や機関名が特定されることはありません。

本研究に関するご意見・ご質問等がございましたら、下記連絡先までご連絡ください。

【連絡先】

酪農学園大学 獣医学群獣医学類

獣疫学教授（獣医学博士）

〒069-8501 北海道江別市文京台緑町 582

Tel & Fax: 011-388-4761

Email: kmakita@rakuno.ac.jp

以上